

第1回静岡市文化振興審議会 議事録

日時：令和6年6月18日(火)14:00～15:45

会場：静岡市民文化会館 2階 第3会議室

出席者：委員：別添名簿のとおり

文化振興課：望月課長、平野補佐、三浦館長(芹沢銈介美術館)、野末係長(施設係)、
福原主査、海野主任主事、浅倉主事

まちは劇場推進課：後藤係長

(公財)静岡市文化振興財団：高橋主事

- ・委嘱状の交付
- ・委員自己紹介
- ・会長・副会長選出

【議題】

(1)令和6年度 静岡市文化振興審議会スケジュールについて

(2)静岡市文化振興計画 前期実施計画 令和5年度事業実施評価について

【報告】

(1)静岡市民文化会館 再整備事業進捗について

【記録】

	内容	
14:00	開会 課長挨拶	平野補佐 望月課長
14:05	・委嘱状交付 ・委員自己紹介 ・事務局自己紹介	
14:20	・会長・副会長選出 条例第24条に基づき、委員の互選により任命 ・会長：平野委員、副会長：佐々木委員を推薦 <u>採決→承認</u> ・会長挨拶 ・副会長挨拶	成島委員 各委員 平野会長 佐々木副会長
14:30	議事録署名人1名：成島委員 【議題1】 令和6年度 静岡市文化振興審議会スケジュールについて <u>資料説明 資料1</u> ・令和5年度からの変更点 従来：年度1年間を通して評価総括書を審議(3月末完成)	平野会長 福原主査

	R6～:10月までに評価総括書を完成させ、評価総括書を次年度予算要求時の事業の組み立てにより実務的に活用する。 質疑→なし	
14:35	【議題2】 静岡市文化振興計画 前期実施計画 令和5年度事業実施評価について 資料説明 資料2 ・第2期静岡市文化振興計画 体系図の説明（計画 P15・16） ・前期実施計画について説明 ・評価意見照会書（様式）について説明 質疑 ・事業評価一覧表において「参考：R5 事業数は R4」ではないか。 ・記載誤りのため R4 で間違いない。 ・自身がよく分かっていない事業について、どの程度理解した上で評価したらよいのか。 ・事業評価一覧表で読み取れる範囲で評価をお願いしたい。 ・各課が発信している広報（SNS 等）を参考にしてもよいかもしれない。 ・体系図における4つの視点の下に記載されているものは、分類されているものなのか、ただの羅列なのかどちらか。また、一覧表に入っている評価はどのような評価の仕方で行っているのか。 ・評価は、各事業の所管課において目標値に対する実績値をもとに行っている。 ・体系図については、計画 P15・16にリンクしている構成になっている。 ・4つの視点と基本的施策の間の文言を飛ばしてしまっているのか、分かりづらくなってしまっているかもしれない。 ・表の色を計画内の体系図の色と同一にもらえるとうれしい。 ・分かりやすく修正した一覧表をデータにて改めて送付する。 ・令和5年度から第2期静岡市文化振興計画がスタートしている。第2期計画に掲げられている新しい視点で評価をお願いしたい。	福原主査 平野会長 成島委員 福原主査 久野委員 福原主査 平野会長 海野委員 福原主査 望月課長 海野委員 福原主査 平野会長
15:00	【報告】 (1)静岡市民文化会館 再整備事業進捗について 資料説明 質疑 ・閉館期間中のソフト事業はどうなるのか。	望月課長 平野会長 成島委員

	・文化活動をフォローしていけるよう、ソフト事業を途絶えさせない取り組みを考えていく予定だが、活動場所がないので、これから組み立てを行っていく。 ・申請者がいなかったというのは、札入れする業者がいなかったということか。 ・そのような理解で間違いない。 ・公告期間が7か月とあるが、当初の期間を含め7か月か、それともこれから更に7か月か。 ・これから7か月程度を見込んでいる。 ・閉館期間が先延ばしになるのは、高齢化が進んでいる文化団体にとってはつらい。 ・周辺の文化施設も休館期間が被らないように調整はしている。周辺で支えながら休館期間を乗り越えていくしかない。 ・本来劇場や展示室ではない場所をどう使っていくか発掘するチャンスとも捉えられるが、限界もある。 ・市民の文化活動が止まらないように下支えしていきたい。 ・何より施設が老朽化している。実勢価格の実態を掴みながら発注を進めていきたいと考えている。休館期間中も文化活動を止めない取り組みをソフト事業での対応等で検討している。	望月課長 中山委員 望月課長 海野委員 望月課長 海野委員 成島委員 平野会長 望月課長 野末係長
15:45	事務連絡 閉会	平野補佐

署名(会長) 平野 雅彦

署名(委員) 成島 洋子